

Y13b

## ソーシャルメディア衛星開発プロジェクト SOMESAT の質問紙調査

渡辺謙仁 (北海道大学)

現在進行中のソーシャルメディア上で展開する宇宙を題材とした興味深い協働学習の例として、「ソーシャルメディア衛星開発プロジェクト SOMESAT (サムサット)」が挙げられる。SOMESAT: SOcial MEdia SATellite development project は、人工衛星を社会の宇宙への関心を媒介するメディアとして捉えた上で、ソーシャルメディアの象徴としてのキャラクター(初音ミクなど)を搭載して宇宙に打上げ、社会の反応を調べるために開発が進められている超小型衛星およびその開発プロジェクトである。ソーシャルメディアにおいては、異なるカテゴリのクリエイターたちの相互作用によってコンテンツが生成されることがあるが、SOMESAT の開発は、特定の研究機関や大学、企業などによってではなく、また仕事縁や学閥などではなく、主にインターネット上で知り合った、異なるカテゴリの技術者や事務担当者たちの相互作用、つまりソーシャルメディア的な手法によって行われている。現在でも SOMESAT には原則的に誰でも参加できる。また衛星打上げ後は、キャラクターが宇宙でパフォーマンスを行っている映像を撮影して地上に送信し、ソーシャルメディアに流すなど、ソーシャルメディアと連動した実践を行っていくことが考えられている。SOMESAT とは、ソーシャルメディアによる、ソーシャルメディアとしての衛星開発プロジェクトである。

SOMESAT はインターネット上で集まった人々による実践であることもあり、これまでの参与観察から参加者が持つ参加を決定付けると思われた関心(宇宙、自主工作、キャラクターなど)やニーズ、共同体に対する意識などは様々であると考えられる。本研究では、それらを中心に調査して SOMESAT を大まかに捉え、結果を実践に生かすことを目指した。